

「8歳男児のアトピー性皮膚炎による痛みと痒みが改善したケース」

CHhom9期生 星原 夏子

【目的ならびに主訴(症状)】

クライアント：8歳 男児

主訴：アトピー性皮膚炎による皮膚の痛みと痒み

目的：学生ケースとして初めてみたクライアントです。

改善がみられましたので、参考にしていただければ幸いです。

【タイムライン（急性の対応）】

2021年5月30日（日）近所に住む知人から、8歳の息子さんの足（特にふともも）が熱を持って赤く腫れ、立ち上がり歩くと痛むと訴えていると相談を受けました。午前中は歩いて買い物に行ったが午後から痛みを訴えて床に転がっている。毎週月曜日は「学校へ行きたくない」と駄々をこねるが、「明日は学校に行けない」と言っている。

暑くなってきたので、数日前にクーラーの掃除をしたら、ホコリがいっぱい出たのも原因の一つかもしれない。との事でした。



基本キットより、3時間おきに

- ・ Apis.30C（蜜蜂）：皮膚が赤く熱を持っていて、アナフィラキシーのように見える。
- ・ Bell.30C（セイヨウハシリドコロ）：皮膚が熱を持っていて痛い。
- ・ Bry.30C（ブライオニア）：皮膚が乾燥してガサガサしている。
- ・ Lyc.30C（ヒカゲノカズラ）：自分に自信がない。

毎日掃除機をかけて、ホコリとダニに気を付けるように指導した。

夜はよく眠ることができ、翌朝には熱は取れ、学校に行くことが出来た。

一週間後の6月5日（土）に見せてもらった時には、すっかり赤みも腫れも治まっていた。

アトピー性皮膚炎はまだ残っている
ので相談会を継続することに。
母親は好転反応に不安を感じている。

©2022NatsukoHoshihara



【タイムライン（慢性の対応）】

0歳 乳児湿疹。肌が弱め。

4歳 幼稚園に通い始める。アトピー性皮膚炎が出始める（この頃が一番ひどかった）。

6歳 小学校入学。

7歳 漢方医に通い、漢方を飲み始める。給食の牛乳は飲んでいない。

8歳 3月末に引っ越しをしてからアトピー性皮膚炎がひどくなり、足や腕全体に広がっていった。アレルギー検査をし、ハウスダストとヤケヒョウヒダニの数値が高く出た。

【体質】

- ・汗を大量にかくが、水分はあまりとらない。
- ・運動が苦手。少しぽっちゃりしている。
- ・クラスで1～2番目に背が低い。
- ・車に酔いやすく、すぐに吐く。（車に乗ると聞いただけで吐くことも）

【性格】

- ・ 変化に弱く、初めての食べ物や出来事がこわい。
一人でお留守番ができない。
外を一人で歩けない。
手を繋がないと駅の階段の上り下りができない。
相談会の間もずっと母親の膝の上に座っていた。
- ・ クラスの人達から嫌われている気がする。
友達と呼べる人がおらず、クラスメイトと話すのがこわい。
基本的に学校には行きたくない。
公文に通っているなので勉強は出来る方で、周りの人を見下している。
勝りたい、優秀でありたい意識が強い。
- ・ 緊張したり興奮すると吃音がでる。

【1回目 2021年8月11日】 The Bonninghausen Repertory

1 : 261# 1. 部位 - 3. 体肢 - 1. 上肢 - 腕 - 肘関節 : - 肘窩 :

2 : 285# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 膝関節 : - 後面(膝窩) :

3 : 1376# 3. 全般 - 3. 全般 - 6. 皮膚全般 - 皮膚の乾燥(発汗の欠如、無汗症) :

4 : 1522# 3. 全般 - 3. 全般 - 8. 痒み - 痒み(掻痒) - 全般 :

5 : 1317# 3. 全般 - 3. 全般 - 6. 皮膚全般 - 血が出る、かいた後に :

6 : 1728# 4. 基調 - 1. 基調 - 2. 温度、季節、天候 - 暖かいこと(暖かさ) - 温まると:(+好転 冷えると) : - 寝床で :

7 : 2239# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 水(および洗う):(+悪化 濡れたものがあてがわれる[湿布]) : - 濡れた状態になる(ずぶぬれ、びしょびしょ) : - 発汗によって :

8 : 1747# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 不安(恐れおよび恐怖も)から :

9 : 1762# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 苛立たしさ(かき乱される、気分を害する・困惑する、悩まされる)から :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Calc.	9	16	1	1	4	2	2	2	2	1	1
2	Sulf.	8	24	3	3	4	4	4	4		1	1
3	Lyc.	8	22	2	2	4	4	2	3		2	3
4	Sep.	8	15	3	1	2	3		1	3	1	1
5	Puls.	7	22	3	2	3	4		3		4	3



随時：サポートφ腎臓 + Lyc.6C + (Varic.30C)

朝：Calc-s.LM1

昼：Varic.30C（学校があるので随時と一緒に）

夜：Puls.LM3 + Izusan-w.30C（母子で飲んでもらうよう指導）

サポートφ腎臓：とても怖がり、成長も遅いので、腎臓のサポートリンクチャーを選択。

Lyc.（ヒカゲノカズラ）：TBRより選択。自信のない性格にも合っている。

Calc-s.（石膏）：TBRより選択。根本体質のCalc.に合っている。

Varic.（天然痘ノゾズ）：やりたくない意識。疾病ご利益（親に注目されたい）が欲しいので治したくない。成長したくない。

Puls.（セイヨウオキナグサ）：TBRより選択。母親とべったりの関係性。お互いに成長したくない、いつまでも赤ちゃんでいたい思いが強い。

Izusan-w.（伊豆山神社の水）：成長したくない、赤ちゃんのまま甘えていたいという意識が強い。

【経過】

- ・ 本人は、痒みは変わらないと言っているが、見た目が良くなってきた。
- ・ 夜中にポリポリする回数が減った（母親談）。

〔精神〕

- ・ 前は「友達がいらない」と言っていたが、今回は「二人いる」と言って笑いながら話してくれた。
- ・ クラスで一番走りが遅いが、運動会のリレーの選手に積極的に立候補した。（選ばれなかった）
- ・ 負けず嫌いで偉そう。人を見下したい。勝りたい。でも、負けたくないなので挑戦しない。
- ・ 赤ちゃんでいたい、甘えたい意識は変わらず。
- ・ 吃音も変化なし。

【2回目 2021年11月27日】

1 : 264# 1. 部位 - 3. 体肢 - 1. 上肢 - 手(桡骨手根)関節 :

2 : 261# 1. 部位 - 3. 体肢 - 1. 上肢 - 腕 - 肘関節 : - 肘窩 :

3 : 285# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 膝関節 : - 後面(膝窩) :

4 : 1376# 3. 全般 - 3. 全般 - 6. 皮膚全般 - 皮膚の乾燥(発汗の欠如、無汗症) :

5 : 1387# 3. 全般 - 3. 全般 - 6. 皮膚全般 - 皮膚が硬い(強皮症) :

6 : 1467# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 治りにくい(びらん性の、変延する) :

7 : 1522# 3. 全般 - 3. 全般 - 8. 痒み - 痒み(掻痒) - 全般 :

8 : 1728# 4. 基調 - 1. 基調 - 2. 温度、季節、天候 - 暖かいこと(暖かさ) - 温まると:(+好転 冷えると) : - 寝床で :

9 : 1762# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 苛立たしさ(かき乱される、気分を害する・困惑する、悩まされる)から :

順位	レメディ-	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sulf.	9	26	4	3	3	4	1	2	4	4	1
2	Lyc.	9	24	2	2	2	4	2	2	4	3	3
3	Sep.	9	22	4	3	1	2	4	3	3	1	1
4	Phos.	9	20	2	3	3	4	1	1	1	2	3
5	Rhus.	8	24	4		3	3	4	3	4	2	1
6	Graph.	8	21	2	1	2	3	3	4	3	3	
7	Kali-c.	8	21	4	4	1	4	1	1	3	2	

随時：サポートφ肺 + Coron-N.30C + Lyc.6C

朝：Graph.LM2

昼：Med.LM3（学校があるので、夕方にとるよう指導）

夜：Sep.LM4（母子で飲んでもらうよう指導）

サポートφ肺：皮膚疾患に対して肺をサポート。鼻炎で鼻水をズルズルする日もある。

Coron-N.（新型コロナノゾーズ）：新型コロナを不安がっているので予防の為に。人を見下したい精神にも合うと思われる。

Lyc.（ヒカゲノカズラ）：TBRより選択。（CK7）人見知り。（CK23）びくびくと不安で怖がっており、臆病。（CK32）自分の体力や腕力に自信がない。

Graph.（天然黒鉛）：アトピー性皮膚炎に。父親との関係性。光に弱く、眩しがりや。少し肥満。決定が遅い。（CK）鼻から粘液が流れ出てくる。

Med.（淋菌ノゾーズ）：淋病マヤズム傾向。負けたくない、勝ちたい意識が強い。

Sep.（イカ墨）：TBRより選択。皮膚疾患に対して。母親も更年期障害があるので一緒にとってもらうように指導。

【経過】

- ・ 本人は痒がっているが、腕や足全体に広がっていた湿疹はなくなった。
- ・ どのような痒みか聞くと「ポーっと燃えるような感じ。もぞもぞした痒み。チクチクした痒み」とのこと。
- ・ 掻いた後に血が出るが、前ほどではない。掻いた後に皮膚が落ちるのもマシになった。

〔精神〕

- ・ 将棋を習い始めた。はじめて自分からやりたいと言った。負けるたびに泣く。
- ・ 流行りのアニメは怖いので見ない。
- ・ 寝るのがこわい。何が怖いのかを聞くと「意識を失うのがこわい」とのこと。
- ・ 口癖のように「こわい、こわい。」と言う。何が怖いのかはわからないのだそう。
- ・ 吃音は変化なし。

【3回目 2022年2月20日】

1 : 816# 3. 全般 - 2. 睡眠 - 1. 睡眠 - 不安な :

2 : 2150# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 眠り - に落ちる前 :

3 : 779# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不安 :

4 : 802# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 2. 知力 - 認識の欠如(気づいていない、無意識のうちに、知らず知らず) :

5 : 1762# 4. 基調 - 1. 基調 - 3. 精神 - 苛立たしさ(かき乱される、気分を害する・困惑する、悩まされる)から :

6 : 559# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 2. 声 - 震えた(振せん性の、わなわな震える) :

7 : 208# 1. 部位 - 1. 頭部 - 11. 口(および咽頭) - 舌 :

8 : 1527# 3. 全般 - 3. 全般 - 8. 痒み - 焼けるような痛み・灼熱感 :

9 : 1073# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 変質した感覚(感覚異常、偽性感覚) : - 虫などがはうような・むずむずする感覚(非移動性、くすぐったい感覚) - 内側部分に(痒み、くすぐったい感覚、など) :

順位	レメディ	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Ars.	9	26	4	4	4	1	3	1	4	3	2
2	Acon.	9	23	3	1	3	1	4	2	3	3	3
3	Bell.	8	24	3	3	3	4	3		4	3	1
4	Merc.	8	21	1	4	2	2		3	4	3	2

随時：サポートφ見捨て+ Morg-g.30C + Onkokin.30C + (Coron-N.30C)

朝：Ars.LM5

昼：Coron-N.30C（学校があるので随時と一緒に）

夜：Acon.LM5

サポートφ見捨て：本人もよくわからない恐怖心が常にあり、親にかまってもらえない（見捨てられる）ことへの不安が大きいように感じる。

Morg-g.（腸内細菌）：腸内環境を整え、皮膚や意思を強くするために。

Onkokin.（御古菌）：腸内環境を整え、皮膚や意思を強くするために。

Ars.（ヒ素）：TBRより選択。不安、恐怖心に。

Coron-N.（新型コロナノゾース）：勝ち負けにこだわり、勝って人を見下したい意識が強い。
新型コロナの感染予防にも。

Acon.（ヨウシュウトリカブト）：TBRより選択。不安、恐怖心に。

【経過】

- ・部分的（手首・肘の内側・膝の裏）には残っているが、全体の皮膚や首の皮膚もキレイになった。



【結果】

アトピー性皮膚炎の子供は恐れや不安が強く、体が小さく自信のない子が多いように感じます。不安や恐れ、成長の遅さに対してサポートφ腎臓、アトピー性皮膚炎や鼻炎に対してサポートφ肺、親や周りの大人の注目を集めたい精神に対してサポートφ見捨てを順に選びました。

根本体質レメディのCalc.（カルシウム）から始め、次にアトピー性皮膚炎に適したGraph.（黒鉛）を選び、恐れのお持ちが大きいことからArs.（ヒ素）を選びました。

母親との共依存が強いので、夜は二人に合うレメディとしてPuls.（セイヨウオキナグサ）、Sep.（イカ墨）、Acon.（ヨウシュウトリカブト）を選びました。また、自信のなさにLyc.（ヒカゲノカズラ）を選んだことで積極性が生まれ、友人ができるなど、ゆっくりではありますが改善と成長がみられました。

【考察】

母親が大変心配性で、「危ない、危ない」と言ってクライアントの自由意志を奪っているように見受けられました。そのため、クライアントは潜在意識で「親から信用されていない」と感じ、「自分はできない」という自信のなさが不安・恐怖心を生み出し、その自信のなさを埋めるために、勉強や将棋で勝つことにこだわり、周りの人を見下すことで自尊心を保っているのではないかと思いました。母親の「可愛い赤ちゃんのままでいて欲しい」という想いが、クライアントに「赤ちゃんの様に可愛いくなければ愛してもらえない」という不安を生み出し、アトピーがあれば親にかまってもらえる、注目を浴びることができるという疾病御利益により、クライアントの成長とアトピー性皮膚炎の治りが妨げられているように感じました。現在も相談会は継続中です。